

# としよかん だより

2025. 12 NO.248

宍粟市立図書館

〒671-2576

宍粟市山崎町鹿沢81

TEL 62-4620

FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



## 本の福袋 (大人向け 40袋)



12月14日スタート

(無くなり次第終了)

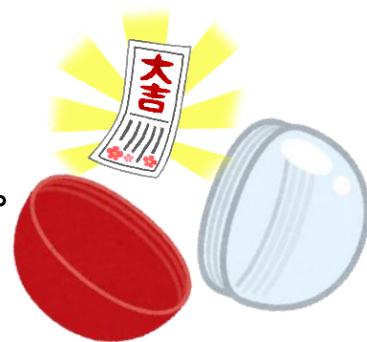


- ・テーマに沿った本が3冊入っています。
- ・気になるテーマの福袋を選んで、カウンターでお借りください。
- ・おひとり1袋借りられます。(プレゼントではありません。)



## ガチャガチャおみくじ (子ども向け 1日1回まで)

- ・ガチャガチャをまわして、おみくじを引こう！
- ・出てきたおみくじと同じ色の箱から本を選んでください。  
おもしろい本に出会えるかも！



年末年始 休館のお知らせ



12月28日(日曜日)～1月5日(月曜日) 休館します

12月14日～27日まで  
貸出期間3週間  
貸出冊数の上限10冊  
に変更します。

12月29日～1月5日まで  
返却ポストは  
利用できません



## こんな本あります

### 『 関西人はなぜ「〇〇電車」というのか』

関西鉄道百年史』

松本 泉 著（淡交社 2024年刊）

「官鉄王国」である首都圏の私鉄が、〇〇線と呼ばれるのに対し、「民鉄王国」関西の私鉄は阪神電車など、〇〇電車と呼ばれています。本書では、その理由を探りつつ、関西の私鉄の生き残りをかけた仁義なき戦いの歴史がつつられています。

「民鉄王国」関西には、たぐいまれな経営感覚を発揮し、黄金時代を築いた経営者の存在がありました。関西の五大私鉄のうちの一つである阪急電鉄の歴史は、1910年に開業した箕面有馬電気軌道にさかのぼります。今でこそ閑静な住宅地を走っていますが、元々は行楽客を運ぶための郊外電車でした。沿線は田んぼや畑が続き、開業当初から苦しい経営を強いられました。それを救ったのが、創業

者・小林一三の才覚でした。小林は、「乗客がいなければ、乗客をつくれればいい」と、沿線に大型住宅地を次々と建設し、日本初の月賦販売で現役のサラリーマンでも郊外住宅が買える仕組みをつくり出すと、沿線の住宅は飛ぶように売れました。当時は珍しかった動物園を箕面につくり、宝塚で少女歌劇団の公演を始めるなど、レジャー施設やイベントでも乗客を増やしていきました。

戦前の鉄道事業は軍事や経済など国策の根幹と深く関わっており、常に国の介入を受けました。しかし小林は、政府などからの出向や天下りは受け入れず、「官には一切頼らない経営」を貫きました。彼が打ち出した経営は、その後の全国の私鉄運営のモデルケースとなりました。

関西人が使う「〇〇電車」という呼び方には、愛情と親しみのほか、「民」の力で街づくりを進めてきた庶民の誇りが込められています。熾烈な争いが生んだ独自色の強い私鉄文化から、逆境を跳ね返し、自由な発想で街を発展させていった関西人の不屈の精神を感じることができます。

子どもの本

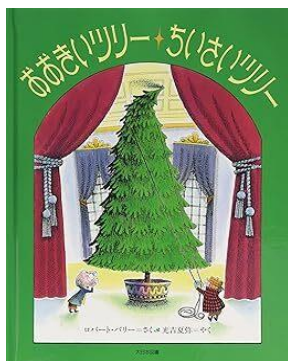
79

「おおきいツリー ちいさいツリー」

ロバート・バリー さく

光吉 夏弥 やく（大日本図書）

もうすぐクリスマスです。ウィロビーさんの屋敷に大きなツリーが届きました。ところが、広間に立てると、先が天井につっかえてしまいました。執事のバクスターが斧で先を切り落とし、それを小間使いのアデレードにわたしました。アデレードがツリーの先を自分の部屋に飾ると、少しだけ大きすぎました。そこで、先をはさみで切り、ほかのゴミと一緒に裏口に出しました。そこへ庭師のチムが通りかかり、それを持ち帰りました。チムの小ちゃんまりした家にはツリーは大きすぎ、おかみさんが先をちょんぎって窓の外に捨てました。それをくまが持って帰り……。どの家もそこにふさわしいツリーを手に入れ、クリスマスを迎える準備が整っていきます。読んでもらえば、四歳から楽しめます。



「飛ぶ教室」

エーリヒ・ケストナー 作  
高橋 健二 訳（岩波書店）



あと数日もすれば、高等中学のクリスマス休暇が始まります。放課後、寄宿生たちが劇の練習に励んでいました。そこへ、級友がさらわれてたという知らせが届きました。犯人は以前から因縁を持つ実業学校の生徒に決まっています。六人の少年たちが助けに向かいました。マルチンの機転とマチアスの腕っぷしのおかげで、救出作戦は無事に成功しました。けれども、許可なく外出しましたため、尋問を受けることになりました。話を聞いた先生は、じつくりと考えました。そして、生徒たちから相談されるほどの信頼を得たいと言いました。自分自身にも罰が必

要だと言いました。自分自身にも罰が必

心情的な登場人物たちの揺れ動く

近づきつつある少年たちと、物語で

少年だった先生たちの友情の物語

め十二歳くらいから大人まで楽しめます。

# 新 着 図 書 紹 介

◆このリストは直近 1 か月に入った本の一部です◆

書 名	著 者	出版社	ジャンル
中世トラベルガイド ヨーロッパから世界の果てまで	アンソニー・ベイル	河出書房新社	世界史
小泉セツ 世界で一番良きママさん (別冊太陽)	—————	平凡社	伝 記
かんぽ生命びくびく日記 ノルマ死守！本日もお年寄りに営業かけます	半沢 直助	三五館シンシャ	保 陰
イラストでわかる高齢者のくらし図鑑	kei, 長島 佳歩	メディカル・ケア・サービス	介護福祉
根も葉もある植物のはなし その多様なすがた・かたちについて	塚谷 裕一	山と溪谷社	植 物
動物たちのインターネット 生きものたちの知られざる知性と驚異のネットワーク	マーティン・ヴィケルスキ	山と溪谷社	動物生態
専門医が教える子どもの肌トラブル解決Book	伊藤 とうこ	自由国民社	医 学
「もう一度歩ける」に挑む 救命救急センター「チーム井口」の覚悟	高梨 ゆき子	講談社	医 学
40代からはじめるあなたの予防医学 健康診断で「突然死」の9割は予測できます	角田 拓実	自由国民社	健 康
配色が楽しいアメリーで編むかわいい小物	誠文堂新光社 編	誠文堂新光社	編み物
薬膳せいろ蒸し からだのトラブル解決ごはん	阪口 珠未	自由国民社	料 理
発酵調味料でつくる毎日おいしい発酵おかず	清水 紫織	朝日新聞出版	料 理
令和米騒動 日本農政失敗の本質	荒幡 克己	日経 BP 日本経済新聞出版	農業政策
修羅場の王 企業の死と再生を司る「倒産弁護士」142 日の記録	大西 康之	ダイヤモンド社	航空運輸
カラー筆ペンで描く花と季節のモチーフ	倉前 朋子	マール社	絵画技法
はじめてのキャップアート アクセサリーからスマホケースまで	CAP AKIRA TOKYO	大和出版	工 芸
能に描かれる愛のかたち	松村 栄子	檜書店	能 楽
あなたはもう遭難している ほんとうにあったびっくり遭難に学ぶ登山の超基本	羽根田 治	山と溪谷社	登 山
「わかってもらう」ということ 他人と、そして自分とうまくやっていくための言葉の使い方	川添 愛	KADOKAWA	話し方
世界最高の辞典を作った名もなき人びと	サラ・オーグルヴィ	早川書房	英 語
小説、この小さきもの	鴻巣 友季子	朝日新聞出版	文学論
筒井康隆自伝	筒井 康隆	文藝春秋	作家自伝
豊臣家の女たち	福田 千鶴	岩波書店	新 書
夏鶯(なつうぐいす)	赤神 諒	集英社	日本小説
さよならジャバウォック	伊坂 幸太郎	双葉社	日本小説
真珠配列	岩井 圭也	早川書房	日本小説
うまれたての星	大島 真寿美	集英社	日本小説
紫の鯉	奥山 景布子	徳間書店	日本小説
蜻蛉(かげろう)の夏	垣根 涼介	小学館	日本小説
旅行屋さん 日本初の旅行会社・日本旅行と南新助	河治 和香	実業之日本社	日本小説
宙色(そらいろ)のハレルヤ	窪 美澄	文藝春秋	日本小説
ウロボロスの環	小池 真理子	集英社	日本小説
軍師秀長(上・下)	近衛 龍春	毎日新聞出版	日本小説
犯人に告ぐ(4)	栗井 脩介	双葉社	日本小説
こだま標本箱	谷 瑞恵	徳間書店	日本小説
研修生	多和田 葉子	中央公論新社	日本小説
地上の楽園	月村 了衛	中央公論新社	日本小説
フルハウス	堂場 瞬一	東京創元社	日本小説
水は動かず芹(せり)の中	中島 京子	新潮社	日本小説
彼の左手は蛇	中村 文則	河出書房新社	日本小説
家族	葉真中 顕	文藝春秋	日本小説
女王さまの休日 マカン・マラン ボヤージュ(番外編)	古内 一絵	中央公論新社	日本小説
彼女たちは楽園で遊ぶ	町田 そのこ	中央公論新社	日本小説
三頭の蝶の道	山田 詠美	河出書房新社	日本小説
吾も老の花	阿川 佐和子	集英社インターナショナル	エッセイ
飼い犬に腹を噛まれる	彬子女王,ほしよりこ	PHP 研究所	エッセイ
もっと知りたい小泉八雲 怪異へのノスタルジア	松村 一男 他	東京美術	作家研究
ジートコヴァーの最後の女神たち	カテジナ・トウチコヴァー	新潮社	外国小説

## イベント

「しそ酵発酵フェア2025」にあわせた展示コーナーを12月13日まで設置しています。1月6日～2月15日は、いちのびあ図書室・ちくさ図書館で設置します。

期間中、発酵関連の図書を借りると、プレゼントの応募ができます。応募される方は窓口までお声掛けください。

## 読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時 12月13日（第2土曜日）

14時～15時30分

作品『銀の匙』

中 勘助 著

★次回の作品

『やかまし村の子どもたち』

アストリッド・リンダグレン 著

## えほん・おはなしのじかん

4歳以上の子どもが対象です。

えほん 12月6日（第1土曜日）

20日（第3土曜日）

おはなし 13日（第2土曜日）

27日（第4土曜日）

10時30分からはじまります。

事前申込は不要です。

当日カウンターで受付をしてください。

## 工作もたのしむえほんのじかん

絵本のよみきかせの後、風船でおもちをつくります。

日時：1月17日（土曜日）

10時30分から11時30分

場所：穴粟市立図書館 2階

対象：4歳以上の子どもと保護者

定員：8組（先着順）

持ち物：ハサミ、のり、飾り（シールなど）

申し込み：12月1日午前9時30分より受付開始



## 移動図書館ささゆり号運行予定

巡回場所	12月	1月	貸出時間
山崎町内	16日（火）	20日（火）	10時40分～14時
一宮町（学校・こども園）	5日（金）	16日（金）	9時25分～15時25分
一宮町内	20日（土）	10日（土）	10時00分～15時
波賀町（学校・幼稚園）	3日（水）	14日（水）	10時30分～16時
波賀町内	13日（土）	24日（土）	10時30分～15時30分
千種町内	10日（水）	21日（水）	11時00分～13時35分

巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。



本のリクエストも受け付けています



## 図書館カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

× 休館：月曜日・祝日・年末年始

（月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館）

△ 閉館：月末館内整理

（末日が日曜日や休館のときは、翌月初め）

開館時間：

9時30分～17時30分

（金曜日のみ18時30分まで）